

## 美容師が取り組む SDGs! ～全ての人に健康と福祉を～

訪問美容で、ご高齢の方、障害や病気をお持ちの方、怪我で美容院に行けない方、妊娠子育て中のママなど気軽にオシャレになる選択を。

**訪** 問美容とは、国家資格を持つプロの美容師が自宅まで出張してヘアカット・ヘアカラー等をしてくれるサービスです。介護や障害などで美容室や理容室に行くことが難しい人もいらっしゃいます。そのような人たちに向けて、自宅や施設でヘアカットを行う訪問美容というサービスが行われています。利用をされる方としては、ご高齢の方、障害や病気をお持ちの方、怪我で美容院に行けない方、妊娠子育て中のママさんなどがいらっしゃいます。「ご自宅にてリラックスした環境・状態（公共機関の利用が難しい・バリアフリーでない）と行く事が出来ない・人の目が気になる等」「ご家族やパートナーさんの付き添いOK（コ

ミュニケーションが苦手な方も誰かと一緒に安心して意思疎通を図る事ができる）」「障がいに対して理解のある美容師さん（一般のスタイリストに比べ、理解や配慮がある方が担当）」「辛くなったらいつでも中断OK（途中中断にて驚いたり、嫌がったりされる事はなく、自身のペースにて安心しての施術を受ける事ができる）」等、美容院よりも手厚いサポートにて施術を受けることができます。「美容院を利用したいけど難しい、障がいをお持ちの方（そのご家族）」に向けて、ぜひ知ってほしい訪問美容というサービスについてお話をしました。

執筆者：ソーシャルサポート沖縄  
和田 真由子

### Associa Staff

**宮里 美風**  
所属：ホイスコーレ神戸

沖縄県沖縄市生まれ、HIPHOP 育ち。大学では心理学を専攻していました。趣味は、食べる事、お酒を飲む事、音楽を聴く事、運動する事。最近、ゴルフのレッスンに通いたくて、財布と相談中です。好奇心旺盛なため、色々な事に挑戦したいです。それは趣味だけでなく、仕事でも同様。開所式での司会、大学への営業など、



初めての事に挑戦させてくれるアソシアが大好きです。ホイスコーレ神戸で学生の復学支援をする中で、学生が安心して挑戦できるように、伴走しながら応援する、一緒に悩んで考える事を大切にしています。愛ある温かいスタッフに囲まれて、ぬくぬくのびのびと、人として、支援者として成長できるように頑張りますっ！

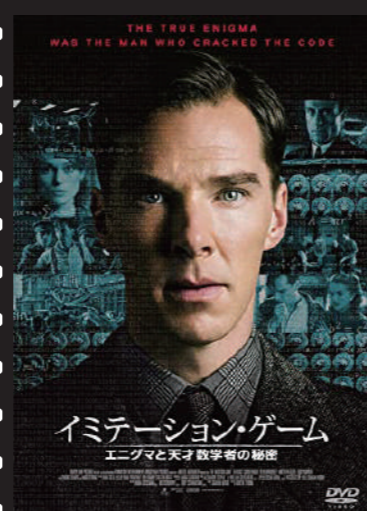
### Event information

アソシア・ホイスコーレ  
11.5 (土) 11:00~16:00 (沖縄県北谷町北前 1-10-8)  
【おやこフェスタ Vol2 feat.chatan. community】おやこで参加できるイベントとしてスタートした当イベント。食事やコーヒーなどを提供するフードカーや、おやこで参加できるワークショップや会場を盛り上げるステージ（バンド演奏など）を開催予定！

Associa  
local network design

発行元：株式会社アソシア  
法人本部：沖縄県中頭郡北谷町北前 1-10-8  
TEL：098-926-5175 FAX：098-926-5176  
MAIL：info@associa-lnd.co.jp  
HP：https://associa-lnd.co.jp/

### Reccomend Movie 001



障がいと関連した映画を紹介していくコーナーです。第1回は、アベンジャーズシリーズのドクター・ストレンジ役でお馴染みのベネディクト・カンバーバッチ主演の「イミテーションゲーム」。第2次世界大戦時にドイツが世界に誇る暗号機エニグマを見事に解読し、連合軍を勝利に導いた天才数学者アラン・チューリングの人生を描いたドラマです。独特なキャラクターとして演じられており、過集中や他者との協調を避けるところなど、随所に「ASD感」がみられます。また、セクシャリティーにも触れており、医療・福祉・教育業界の映画好きには必見の映画となっています。

執筆者：CEO 神谷 牧人

インスタグラムで情報配信中



ジョブ川西 ホイスコーレ神戸

# ASSOCIA JOURNAL

TAKE  
FREE

October  
2022



vol.01





## アソシア・ジョブ川西の就労移行って、なにしてるの？

兵庫県川西市で2020年にオープンしたアソシア・ジョブ川西。新たに取り組んでいるプログラムの様子をご紹介します！

アソシア・ジョブ川西では6月より、講義を中心に行う新しいプログラムが始まり、5ヶ月が経った現在、訓練生もだいぶ慣れてきた様子です。講義内容は、ビジネス SST、企業研究などの就労に関するだけでなく、MBTIをはじめとする自己理解学、さらにはゲーム、英会話・手話講座など、集団でのコミュニケーションや生活スキル向上を目指した内容が盛り沢山です。今回はプログラムの中でも最も盛り上がる”企画実践”を紹介します。



期待に応えることで自己効力感を高めたり、集団で過ごす楽しさを実感することを目指すプログラムで、合意形成のプロセスを経て訓練生全員で企画をし、これまでに野外アクティビティ、宿泊研修を企画してきました。全員が楽しめるイベントは何か、誰がどんな役割を担うかを話し合っていく中で、今まで集団の中での発言が難しかった方の発言が増えたり、得意だと思える役割を見つけたりと変化が見えてきました。議論が白熱することもあり、混沌とした状況で頭を悩ませる方もいましたが、実践後の訓練生からは「楽しかった」だけでなく「もっとこうしたい」という声も聞こえてきて、スタッフも嬉しさと達成感でいっぱいです。

現在の”企画実践”では、どんな形で地域貢献ができるかと白熱した議論が進行中です。

執筆者：ジョブ川西 支援員 上原 みつ穂

## Column

今まで、たくさんの方々がアソシアを利用し巣立っていきました。繋いでくれた支援者の皆様へその方々の活動中やその後をお伝えしたい…

こんにちはアソシア法人本部管理者をしております大城です。初のコラム執筆ということで、このニュースレター発行に当たった経緯について簡単に説明したいと思います。

弊社は多くの関係機関との連携やご協力のもと利用者支援を行っていますが、繋いでいただいた方々に「その後」を丁寧に伝えてきていない反省がありました。久しぶりにお会いした関係者に「あの方どうなってる？」と聞かれて初めて情報を伝えますが、お互いの人事異動等が重なるとさらに情報共有は難しくなっています。ある事業所が丁寧に報告書や取り組み内容をしたためた資料を定期的に配布しており、その取り組みは大切だと感じ今回の取り組みをスタートさせました。毎回、各圏域の様々なスタッフが輪番制で記事を担当しますので、地域性やスタッフの人物等も情報発信できればと考えております。

今後は日々お世話になっている事業所間のコミュニケーションツールとして活用しつつ、引き続き事業所間の良好な関係が継続できれば幸いです。お時間ありましたらご笑納ください。

執筆者：GM・法人本部 管理者 大城 篤志



## 教えて先輩！CEO 神谷の新人秘書が先輩秘書へインタビュー！

CEO 神谷の先輩秘書から、衝撃エピソードを通じて培った神谷限定(?)の秘書力について、新人秘書へ伝えます。

宜野座：津嘉山さんは何年くらい秘書をされていたんですか？

- 津嘉山：約3年、秘書として勤務していましたね！その時は秘書ではなく世話人って感じていただけですね！

宜野座：あはは(笑)では3年の経験から秘書として一番大事なことを教えてください。

- 津嘉山：やはり、1人の子もだと思って関わるということですかね。ほら、子どもってよく物を失くしたり、忘れたりするでしょう？子どもだったらしょうがない！で済むけど、大人だとイライラしちゃう。うちのCEO(神谷)もそんな感じだから、大人と思って関わっていたら、ずっとイライラしちゃう。そう思って、1人の子もだと思って関わっていました。一番大事なところはそこですかね(笑)

宜野座：そうですね(笑)印象に残っているエピソードはありますか。

- 津嘉山：それは紛れもなく、出張時の携帯紛失事件ですね！急にメールで「携帯電話とパソコン失くしたっ」て出張先から連絡がきたんですよ。その時は「この人、

じゃあ何でメールできるんだろう？」って思って、宿泊ホテルに電話して、部屋まで繋いでもらって「どうやってメール送ったんですか？」って聞いたんですよ。そしたら神谷が「そうか、メールができる！あっ！目の前にパソコンはある!!!」と言ってめっちゃテンパってて(笑)携帯電話だけ、なくなっていたんですよ。その後、携帯のGPS機能を使って探そうとなったんですけど、次はアカウントが分からないとなってしまっ…。思い当たるアカウントとパスワードで検索し続けて…。

宜野座：結局、携帯電話は見つかったんですか？

- 津嘉山：見つかりました！その後、アカウントとパスワードがヒットして！いやー、あの時は逆に達成感を感じましたね！(笑)

宜野座：すごい！でも大変でしたね！



- 津嘉山：いやいや、こんなの序の口ですよ！ほら、うちの神谷ってよく寝坊するでしょう？しかも大事な日にこそ寝坊するんですよ！一度、学会参加の出張があったのですが、その時も寝坊して。自宅に行き起こして急いでお風呂に入らせて。その間僕は神谷のシャツにアイロンかけたり、パンツたんでバッグに詰めたりして、急いで空港まで送ったことがありますよ！

宜野座：ウソー！(笑) やっぱりうちの神谷には秘書が必要ですね！

- 津嘉山：いや、世話人が必要です！

インタビュー：GM 津嘉山 拡大  
CEO 秘書 宜野座 妙美



大学入学後、自分のペースで学習できない環境に馴染めず、体調を崩し始め、休学を選択した時、学生支援室から紹介されたのがホイスコーレで、初めて見学に来た時の印象は、様々な楽器、色とりどりの椅子、何をやる場所なのか分からない『謎のオシャレ空間』でした。その頃昼夜逆転生活真っ只中で生活リズムを整える為にもスタジオに楽器を弾きに行く感覚で通所を始めました。スタッフとの対話を重ね、気持ちを整理することで「自分の人生は自分で決める」とシンプルに思えるようになり、心の底にあった「本を書く」という本来の夢を思い出し、躊躇していた創作活動を再開していこうと思います。

協力：ホイスコーレ 沖縄 利用・Tさん(26歳)